

5年の実績 まちづくりが一段と前進、住みやすさもぐーんとUP!

濱田市政がスタートして5年。住みやすさを追及し、子育て・教育、市民生活の安全・安心、健康・福祉など、特色ある施策を大胆かつスピーディーに実現してきました。

新たな飛躍をめざす市民の会 News Letter

はまだ剛史とともに



第10号 平成28年7月

発行者：新たな飛躍をめざす市民の会 発行責任者：山本 政行
〒569-0071 高槻市城北町1-14-6 荒木ビル4階南 電話・FAX 072-674-1007

子育て

- ★子ども医療費助成を中学校卒業まで拡大
- ★保育所待機児童ゼロを達成
(平成26年から連続。5年間で定員1,311人増加)
- ★臨時保育室を開設し、年度途中の保育ニーズにも対応
- ★妊婦健診費用を12万円分まで助成 **全国トップクラス**
- ★不妊・不育症の治療費を所得制限なしで助成 **府内初**
- ★子育て中の女性等の就職を支援するハローワークマザーズコーナーを開設



法務局跡地に開設した臨時保育室

教育

- ★小学校全学年で35人以下学級を実現 (1学級平均25.6人)
- ★中学校で完全給食を開始 **府内初**
- ★学童保育室の開室時間を午後7時まで延長
- ★小中学校へのエレベーターの設置やトイレの洋式化を順次実施
- ★中学校において土曜学習支援事業を実施



健康・福祉

- ★がん検診を無料化
- ★「ますます元気! 健幸ポイント事業」を開始
- ★高槻ますます元気体操の普及 (市内170拠点、延べ5800人が実施)
- ★市民プール・前島・番田熱利用センター入館料の高齢者割引 (半額) を開始
- ★ひとり暮らし高齢者等を支援 (配食サービスの充実、熱感知センサーの設置等)

安全・安心

- ★小中学校校舎の耐震化を完了
- ★浸水被害対策を充実 (土のうステーションの設置等)
- ★全小学校通学路に防犯カメラを設置
(平成28年度から運用を開始)



成長・発展

- ★パスポートセンターを開設 **府内初**
- ★3世代ファミリー定住支援補助金で3世代同居・近居を支援
- ★「どっちもたかつき」定住促進プロジェクトを展開



JR大阪駅・京都駅で観光のトップセールス

経営革新を宣言し 新たな改革に着手



希望ある未来を子どもたちに引き継ぐために

皆様の温かいご支援を賜り、2期目の市政を担わせていただき、早いもので1年余りが経過しました。2期目のキーワードに掲げた「みらい・創生」の具体化に取り組む中、今年の年頭に、中長期的な視点から「みらいのための経営革新宣言」を発しました。

この宣言は、人口減少・超高齢社会の下、今後厳しい財政状況に直面することが予測されることから、健全財政を維持しているこの時期から、先を見通した課題解決に着手することで、子どもたちに負担を残さず、希望ある未来を引き継ごうとするものです。「強い財政をつくる」、「強い組織をつくる」、「輝く未来をつくる」の3つを目標に定め、既存の仕組みに捉われず、新たな発想、新たな視点に立って経営革新を進めてまいります。

このような観点から、平成28年度施政方針に位置づけた重点施策を着実に実行するとともに、20年先・30年先の「みらい・創生」に向けたまちづくりに全力を傾注してまいります。皆様には、市政へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

高槻市長 濱田剛史

新規会員を募集

はまだ剛史を応援し、本会の趣旨にご賛同いただける方を募集しています。ご入会いただける方は別紙様式に必要事項をご記入の上、FAXか郵便で事務局あてお送りください。

事務所連絡先
所在地：〒569-0071
高槻市城北町1-14-6 荒木ビル4階南
電話・FAX：072-674-1007

『高槻市みらいのための経営革新宣言』

- (要旨)
- 1 強い財政をつくる**
抜本的な事業の見直しによる歳出抑制と積極的な自主財源の拡充を目指し、強い財政基盤を確立する。
 - 2 強い組織をつくる**
職員の意識改革と簡素で効率的な執行体制により、将来にわたり持続可能な都市経営を支える強い組織をつくる。
 - 3 輝く未来をつくる**
行政サービスの最適化を進めるとともに、「選択と集中」により、重要な分野には積極的に投資し、将来にわたり真に必要な品質を確保する。

定期総会・はまだ剛史市政報告会

とき 平成**28**年**8**月**28**日(日) 午前10時~11時

ところ 高槻現代劇場 市民会館 集会室402号
高槻市野見町2-33 (電話番号: 072-671-1061)

はまだ剛史市長が平成28年度施策や実績を熱く語ります。皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。



「新たな飛躍をめざす市民の会」はホームページを開設しています。
はまだ剛史の活動報告やメッセージ動画を掲載していますので、是非ご覧ください。

URL <http://hamada-takeshi.jp/>

はまだ剛史

高槻の未来を見据え重点施策を積極的に展開

— 誰もが安心して暮らし幸せを実感できるまちへ —

平成28年度

重点施策



はまだ剛史市長は、平成28年度のスタートにあたり、重点的に取り組むべき施策を示した施政方針を表明しました。

施政方針では、今後の厳しい財政状況を踏まえ、高槻の輝く未来と市民の幸せのために、今、成すべきことを確実に成し遂げていくとの決意が述べられています。

今号では、主な重点施策を紹介します。

便利で快適な暮らしと未来への基盤を創る 都市機能の充実

- 安満遺跡公園整備を推進（平成31年1次開園）
- JR高槻駅既存ホームへのホーム安全柵設置を支援
- JR高槻駅南駅前広場の美装化等を実施（平成28年度再整備完了へ）
- JR京都線芥川以西の鉄道高架化等を研究
- 市営バスの運行状況をリアルタイムに確認できる「バスロケーションシステム」を導入
- 竹の内・番田方面への市営バス運行に向け準備（平成29年4月運行開始）
- 城跡公園再整備に向けた取組を実施

切れ目のない子育て支援、教育力の向上 子育て・教育環境の充実

- 保育所待機児童ゼロの継続
- 病後児保育事業を実施（4施設）
- （仮称）高槻子ども未来館の実施設計を実施（平成31年開設）
- 妊娠期からの切れ目のない支援を提供する「子育て世代包括支援センター事業」を実施
- 小学校卒業までの子どものインフルエンザ予防接種費用の一部を助成（平成28年10月から）
- 全小中学校において連携型小中一貫教育等を実施
- 小学校の5・6年生対象の標準学力テストを実施

積極的な企業誘致、農林業の生産性向上を支援 産業の振興

- 企業誘致を推進
- ホテル・旅館の整備等に対する奨励制度を創設
- 高槻商工会議所等、関係機関と連携し、起業・創業を支援
- 「観光振興計画」に基づく観光情報発信と体験交流型観光等を推進
- 地元産農産物の安定した生産を支援



災害に強く、犯罪のない明るいまち 安全・安心の向上

- 自治会が設置する防犯カメラへの補助制度を創設
- 児童の登下校時の安全確保のため、ICタグを活用したメール配信システムを導入
- 雨水貯留施設の整備に向けた取組を実施
- （仮称）水害・土砂災害ハザードマップを作成
- 全32地区コミュニティでの地区防災会結成に向けた支援

一人ひとりが心豊かに生き生きと暮らせるまち 市民生活の充実

- コミュニティセンターのエレベーター設置に向けた実施設計を実施（4館）
- 市民公益活動サポートセンター管理運営委員会の中間支援組織としての機能強化に向けた支援
- コンビニエンスストアで各種証明書を交付
- 葬祭センターを家族葬対応に整備
- 市民会館建て替えに向けた取組を実施

住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまち 健康・福祉の充実

- 地域福祉活動の中核的拠点となる「地域福祉会館」を設置
- 平成29年4月からの介護予防・日常生活支援総合事業の構築を推進
- 障害者差別解消法の施行に適切に対応

良好な環境の形成

- 公共施設へのデマンド監視装置（電気料金の低減に役立つ機器）の導入拡大
- エコハウス補助金等による創エネ・省エネの取組を推進
- 高槻クリーンセンター第一工場を高効率発電設備を有する施設に更新（平成31年度稼働）

効果的な行財政運営の推進

- ふるさと寄附金事業を推進
- 公共施設等総合管理計画に基づく取組を推進

HOT トピックス

交通ネットワークの整備が進展 ますます便利で快適に

長年の課題となっていたJR高槻駅のホーム拡充が実現するとともに、本市初のインターチェンジを備えた新名神高速道路や関連道路の整備が進められています。



祝！
特急はるか停車

JR高槻駅新ホームと新西口改札が供用開始 「特急はるか」も停車し閑空に直結

念願のJR高槻駅新ホームが完成し、平成28年3月26日、供用開始されました。新ホームは新快速と特急専用で昇降式ホーム安全柵が設置され、新ホームに直接アクセスできる新西口改札も整備されました。あわせて、「特急はるか」の停車も実現し、関西国際空港まで乗り換えなしでアクセスできるようになりました。



新名神高速道路 原萩谷トンネルが貫通 市はアクセス道路の整備に注力

本市初のインターチェンジを備えた新名神高速道路（高槻～神戸間）の整備工事が進められています。平成28年3月18日には、高槻市と茨木市をつなぐ原萩谷トンネル上り線（延長3,057m）の貫通式が行われました。高槻市も大阪府とともに、高槻ICへのアクセス機能の向上と幹線道路の渋滞緩和のため、関連道路の整備を行っています。